

令和 7 年度 自己評価結果公表

社会福祉法人クオラ
事業所内保育所わんぱくキッズ

1, 評価と取り組み状況

評価項目	取 り 組 み 状 況
保育内容 ・計画・環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・0 歳～1 歳という異年齢の中で、ひとりひとりと丁寧にかかわり、子どもの思いを受け止める保育を心がけました。 ・体を動かす運動遊びやわらべ歌遊びなどをほぼ毎日とり入れることで、気持ちを表現し、安心して過ごせるようになりました。 ・クオラキッズの運動会やお店屋さんごっこ、山遊びなど合同保育に参加し、多い人数の中でも友達に関わろうとする姿が見えました。
こどもへのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利を一番に考えた関わり方を心掛け、ひとりひとりの成長発達をとらえるために保育者で話し合いながら、「子どもの発達の記録」の作成をしました。子どもの思いを受け止め、1 対 1 で寄り添うことで安心して過ごしています。
保護者対応 ・日々の連絡 ・ご意見対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参観の時に、保護者の方と情報交換ができ、保育に生かすことができました。また必要に応じて個人面談をして育児等の相談にも対応しました。希望される方は給食の提供もできました。 ・感染症の発生や対策について早めの連絡をすることができました。 ・連絡帳を ICT 化し、スマホから子どもの様子等の確認ができるようになり、以前より詳しく情報提供ができました。 ・要望等の対応については、職員間で話し合い検討した結果を各家庭へ伝えることができました。
保育者同士の協力・ 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で申し送りをし、一日の流れや報告を職員間で共有し、問題点に関してもその都度、話し合い対策に努めてきました。 ・毎月 1 回の職員研修会を開いて、ひとりひとりの発達段階の確認をし、子どもへの対応を話し合いました。 ・健康面や食育に関してはクオラキッズの看護師や栄養士と連携をとり、助言をもらうことができました。
食育・給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食を通して、たくさんの食材を知り、食べることに興味が出てきています。 ・和食を多く取り入れ、野菜を十分に使用したメニューの提供ができ、噛む力も出てきて野菜もよく食べるようになってきました。 ・定期的に栄養士と離乳食の進み具合や発達状況を話し合い、無理なくすすめています。
安全・衛生・健康管 理への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時に保護者の方からの聞き取りや視診を入念に行い、体調がいつもと違う場合は、こまめに観察を行いました。 ・感染症の発生時には、早めに各家庭に知らせ、部屋の消毒を行い流行を防ぐように努めました。 ・室内玩具は使用後、洗浄や消毒をして滅菌庫に入れて清潔にしました。 ・施設内の点検をし、また事故の対応などはマニュアルを確認しながら安全対策に心がけました。

研修 (資質向上の 取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの関わり方、子どもに対しての理解等の研修会(園外、園内)に職員全員で参加し、内容の共有をしました。 ・子どもの人権擁護、虐待、接遇、危機管理、感染症対応について意識を高める研修を行いました。
-----------------------	---

2, 今後取り組むべき課題

保育方針・理念	・子どもの気持ちを尊重し、個々に寄り添い愛情豊かに関わっていくようにつとめる。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加の行事等を早めに周知する。 ・子どもひとりひとりについて家庭の様子を理解し、信頼関係作りに努める。 ・園便り、連絡帳などで園生活の様子を丁寧に伝える。
安全・衛生・健康管理への配慮	・予測されるこどもの行動を把握し、事故防止に努めるなど危機管理能力をさらに高める。
保育者同士の連携	・連絡漏れがないように周知の方法を検討していく。
研修・資質向上	・子どもの理解を深めるために広い視野を持ち、さらに専門的に子どもや保護者に対応できるよう研修していきたい。

以上の通り報告いたします。

令和8年3月11日
事業所内保育所わんぱくキッズ